

七滝小学校に響く笑い声

10月19日、旧七滝小学校グラウンドで第7回七滝公民館祭りが行われました。公民館七滝分館（川口正輝分館長）主催。運動会は、1部の運動会と2部の演芸に分かれ、1部の運動会では、玉入れやムカデ競走、参加者全員による総踊りなどが行われました。2部の演芸では、消防団による操法競技や大正琴、御船中学校ブラスバンド部による演奏などが行われ、旧七滝小学校には、久しぶりに地域の人たちの笑い声が響き渡りました。



地域住民の声援を受けてゴールする参加者（50m競走）

言葉以外に気持ちを伝える方法

世界で活躍する舞踏グループ「山海塾」の岩下徹さんが、小坂小学校（吉見和洋校長、172人）でダンスワークショップを開きました。ワークショップは、コミュニティーダンスグループKA舞RA（カブラ）の益田さん（小坂）と乙丸さん（熊本市）が企画し町内で行われるのは今年で4回目。児童たちは、岩下さんの即興ダンスを見たあと、ドラムなどの音を聞き、感じたままに自由に表現するダンスを体験しました。



山岡敬介さんのドラムにあわせて表現する岩下さん



磨崖仏群の説明を受ける参加者

吉無田を散策

10月19日、田代地区「力石・中畑集落」を散策する、フットパスが行われ、町内外から約50人が参加しました。吉無田高原自然親交会・愛郷吉無田活性化委員会が主催して3回目。参加者は旧田代東部小学校を出発し、約5kmの距離を散策しました。参加者は、田代中畑集落の入口にある、自然の岩壁に造立された仏像「磨崖仏群」や田代の自然を感じながら散策し、午後からは田代熊野座神社の大祭に参加し地域の人たちとふれあいました。



若宮神社を出発する神幸行列

伝統の音色

若宮神社（辺田見）で200年以上続いている、秋の例大祭「通し物」が10月9日開かれました。若葉保育園児の子ども神輿を先頭に、野間旭媛さん（御船小6年）と本田楓香さん（御船小4年）が打ち鳴らす太鼓や三味線の音に合わせ、氏が古謡「田の茂のうた」を歌いながら町中心部を練り歩きました。2回目の参加となった野間さんは「小太鼓は大太鼓より難しかったけど、ちゃんとできてよかったです」と笑顔で話しました。

稲刈りを体験

吉無田高原米で知られる田代地区上田代で10月21日、御船小学校（本田尚一校長、322人）3年生38人が、稲刈りを体験しました。体験は、地域交流や食育学習を目的として行われ、今年で6回目となります。地域で管理する田で、6月20日に田植えを行った児童たちへ、地域住民約40人が、直接稲刈りを手ほどきしました。刈り取った稲をコンバインから袋へ移す作業を見た児童たちからは、驚きの声が上がりました。



作業風景に驚きの声を上げる児童たち

地域全体で防災意識を高く

10月12日、5丁目区と下荒瀬区が合同で防災出前講座を5丁目公民館で開きました。講座は、一人一人が防災を身近なものとして考えてもらおうと区が企画。役場の出前講座制度を利用して、DVDなどを使い町職員が防災に対する心構えや準備などについて説明しました。村上武士5丁目区長は「日頃から防災の意識を持ち、自分の命は自分で守るという意識を持つことが大切。災害時は地域全体で協力して助け合うような準備をしていきたい」と話しました。



隣近所での助け合いが大切と話す村上区長



ドラム演奏と歌を披露した甲斐さん（右手前）

音楽の力で元気に

上益城郡内などを中心に、フォークソング、ポップスや歌謡曲などの幅広いジャンル演奏で、施設の祭りやイベントで親しまれている益城町の「アントニオバンド」。10月21日、グリーンヒルみふねで慰問コンサートを開き、演奏を披露しました。同バンドに参加している甲斐弘さん（滝川）は「楽しんでもらえてよかった。音楽の力はすごい。私は音楽を聞くと元気が出てくる。音楽の力でみんなが元気になってもらえたいです」と話しました。



ふねまるのお面作りを楽しむ子どもたち

子育て遊園地 開幕

10月19日、町カルチャーセンターで、町子育て連絡協議会（柴田恒美会長）主催の子育て遊園地とカルチャーセンター自主文化事業「まつぼっくり劇場」が合同で開催されました。遊園地では、子育てサークルによるフリーマーケットや小物の販売、婦人会による非常食体験づくりなど、約15団体による催し物のコーナーが設けられました。また、ホールでは人吉影絵劇団まつぼっくりによる幻想的な影絵劇が行われ、来場した親子はイベントを楽しみました。